

◆ “ふるさとちば”のための政策推進◆

# さりとま まちる 寺藤 守県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411



12月定例県議会で一般質問を行う寺藤守県議

## 船橋市海老川上流地区

63万人の人口を抱える中核市、船橋市の都市基盤整備に力を注いでいる寺藤守県議は12月県議会で質問に立ち、開発が予定されている船橋市の海老川上流地区での調節池整備、東葉高速鉄道の莫大な負債問題、船橋市の道路問題などについて森田知事ら県執行部に質問しました。船橋市の海老川上流地区では市による「船橋メディカルタウン構想」が進められていますが、県が同地区で予定する調節池整備はこの構想と整合性を図るべきと主張しました。寺藤県議と県執行部の答弁を紹介します。

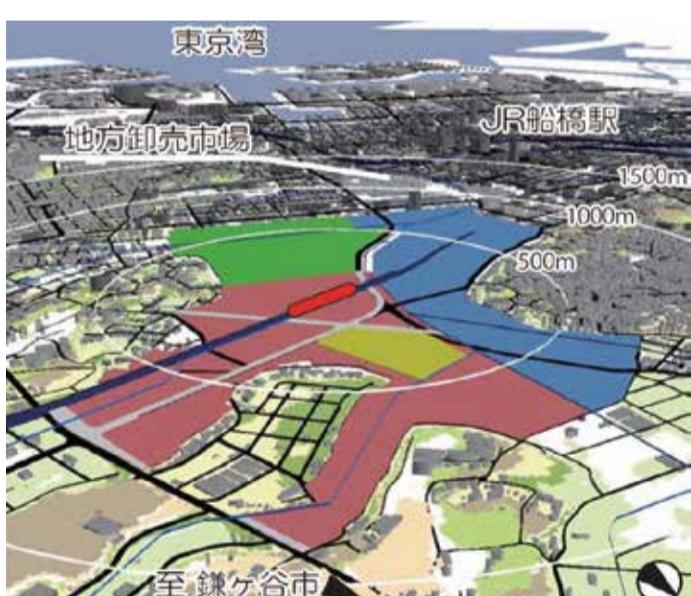
### 12月定例県議会 一般質問

**寺藤議員 海老川上流地区**  
は、船橋市街地の中心部に近く、東葉高速鉄道が東西に横断し、利便性が高いだけでなく、海老川が南北に流れ、また、県で実施中の海老川調節池に隣接するなど、水と緑が豊かな貴重なオープンスペースになっている。

また、当該地区では船橋市が医療や健康をテーマにした新たなまちづくりとして「船橋メディカルタウン構想」を取りまとめ、新駅を誘致した土地区画整理事業が計画されている。このような進捗が見られる中、船橋市が目指すまちづくりと整合を図り、海老川調整池等を整備すべきと考える。

寺藤議員 東葉高速鉄道の長期債務の縮減に組合施行での土地区画整理事業が計画され、平成31年度には市立医療センター着工、38年度には新駅誘致を目標としています。この計画に伴い、県市においては、計画区域内を流れる飯山満川について、河川位置の変更や、海老川調節池への接続方法などを検討しています。

## メディカルタウン構想と 調節池整備の整合性が必要



船橋市医療センターの移転先用地

**寺藤守県議プロフィール**

□ 略歴 □

- 昭和51年3月 同志社大法学部卒
- 野中英二衆院議員秘書
- 船橋PTA連合会会長
- 平成11年4月 船橋市議初当選(3期)
- 平成23年4月 千葉県議初当選(2期)
- 健康福祉常任委員会委員長
- 文教常任委員会委員長

□ 現職 □

- 自民党船橋市支部長
- 船橋市サッカー協会会長

●地元船橋市と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

寺藤 守 県議事務所 船橋市市場5-1-21 (市場通り 青山病院前)  
TEL.047-460-3110 FAX.047-489-1950

地区画整理事業の事業計画との整合を図らなければいけない点があると思うので、県でまいります。  
**寺藤議員 今後**  
制定される土地区画

整理事業の事業計画との整合を図らなければいけない点があると思うので、県でまいります。  
寺橋市が連携して進めてほしい。

**知事が率先して  
国に働きかけを**

**寺藤議員 東葉高速鉄道の長期債務の縮減に向けた支援を求めるべきと考**

## 東葉高速鉄道支援

**寺藤議員 東葉高速鉄道の長期債務の縮減に向けた支援を求めるべきと考**

3000億円の有利子負債を抱えて開業しており、開業直後からの国や自治体等による2度の財政支援にも関わらず、依然として26

00億円の債務を有しているため、今後の金利動向によって経営が左右される不安定な状況にあります。

このため県では、毎年度実施している「国の施策に対する提案・要望において、東葉高速鉄道の経営安定化に向けた支援の充実を重点項目に掲げ、国に対しても長期債務の縮減や利払い負担の軽減など、抜本的な対応を行うよう要望しています。

今後も国、県、沿線市等で構成する「東葉高速自立支援委員会」において、関係者が一体となった支援のあり方の協議を進めるとともに、国に対する働きかけについても、沿線市と協力しながら取り組みを強化してまいります。

